

安倍晋二首相＝写真＝は二十八日の安全保障関連法案に関する衆院特別委員会で、民主党の辻元清美氏に「早く質問しろよ」とやじを飛ばし、審議を中断させた。首相が命令口調で野党議員にやじを飛ばすのは極めて異例。質疑再開後に謝罪したが、野党は納得しなかった。

(安藤恭子)



早く質問

しろよ!

審議で、辻元氏が中東・ホルムズ海峡での機雷掃海を取り上げ「機雷掃海に行くことで、日本がテロに狙われることにつながりかねない」と、自衛隊による機雷掃海が軍事作戦とみなされ、テロを誘発する恐れを指摘していると、首相はいら立ったように「早く質問しろよ」

と声を上げ、議場が騒然となった。その後、首相は「辻元議員が延々と自説を述べて、私に質問しないから、早く質問したらどうだと言った」と理由を説明。「言葉が過ぎたと思えば、おわび申し上げたい」と謝罪した。

辻元氏は終了後、記者団に「がくせんとした。国民の命の問題を質問していたさなかの発言で、怒りというより、一国の首相として悲しくなった」と語った。

首相は二十七日の審議では、答弁の長さを野党から批判された。二十八日の審議では、浜田靖一委員長（自民）から「国民に分かりやすい簡潔な答弁を」と注意され、簡潔な答弁に「留意する」と述べた。

首相は二月の衆院予算委員会で、日教組についてのやじを批判され「日教組は補助金をもらっていて、日本教育会館から献金をもらっている議員が民主党にいる」と答弁。その後、正確性を欠く発言だったとして訂正したことがある。

## 辻元氏にヤジ 審議中断

### 「政府答弁に

### 悪意を感じる」

民主・高木氏

民主党の高木義明国対委員長は二十八日の記者会見で、安全保障関連法案を審議する衆院平和安全法制特別委員会でのやりとりに関して「安倍晋二首相と中谷元・防衛相は的確な答弁をしない、聞かれてもないことを長々と話す。悪意を感じる」と述べ、厳しく批判し

た。

同時に「法案審議をお願いする立場の者が取る態度ではない。猛省を促したい」と強調。野党側質問者が首相らの答弁に計二十回以上抗議し、浜田靖一委員長の注意は九回に及んだと指摘した。

菅義偉官房長官は会見で「批判は当たらない。首相自身の思いと法案の内容を丁寧に説明すれば、どうしても長くなり必然的に時間がかかる」と理解を求めた。